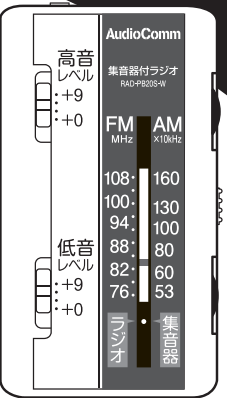


AudioComm®

集音器付ラジオ

RAD-PB20S-W

(07-8685)



取扱説明書

AudioComm 集音器付ラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しく安全にご使用いただくため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保存してください。

安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながる場合があります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

警告

「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

●乾電池は、充電しない。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

●車、バイク、自転車の運転中はイヤホンでの使用や、細かい操作をしない。歩行中に聞く場合、周囲の交通に十分注意する。交通事故などの原因となります。

●屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐにイヤホンを止めて使用を中止する。落雷の原因となります。

注意

「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

●湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。

●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。

●指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。種類の異なる電池（例：アルカリとマンガン）をいっしょに使用しない。使い終わった電池は取り出す。長期間使用しない時も電池は取り出す。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。

●電池は、プラス（+）とマイナス（-）の表示通りに入れる。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。

●イヤホン使用時、耳を刺激する大音量で聞かない。聴力障害などの原因となります。

故障かな?と思ったら 下表を参考に点検してください。

現 象	点検方法
音が出ない	・音量が最小になっていないか確認。 ・乾電池の残量を確認（残量がない場合は電池を交換）。 ・イヤホン端子にイヤホンプラグを接続していないことを確認。
雑音が入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯、LEDの近くで使用していないことを確認。

主な仕様

受信周波数	AM 530—1605kHz	FM 76—108MHz
電 源	DC3V 単4形乾電池×2本（別売）	
電 池 持 続 時 間	AM放送受信時：約100時間 FM放送受信時：約70時間 集音マイク使用時：約60時間 （アルカリ乾電池新品使用、音量中程度として）	
外 形 寸 法	幅53×高さ96×奥行19mm（突起物含まず）	
質 量	約55g（乾電池含まず）	
付 属 品	胸元集音マイク、両耳イヤホン、イヤーチップ（S/M/L）各2個、 収納ポーチ、取扱説明書、保証書	

※本製品は、医療機器認定を取得した補聴器ではありません。
※改良などのため、仕様および外觀は予告なく変更する場合があります。

▼胸元集音マイク、両耳イヤホン、イヤーチップが古くなりましたら、新しく交換用イヤホンセットをお求めください。

集音器付ラジオ用イヤホンセット ERA-PB20S-W/品番03-3200（別売）

OHM 株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8

http://www.ohm-electric.co.jp

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話受付 048-992-3970 平日9:00~17:00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

電話受付 平日9:00~17:30 土曜9:00~17:00
※日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-8685A

電池の入れ方

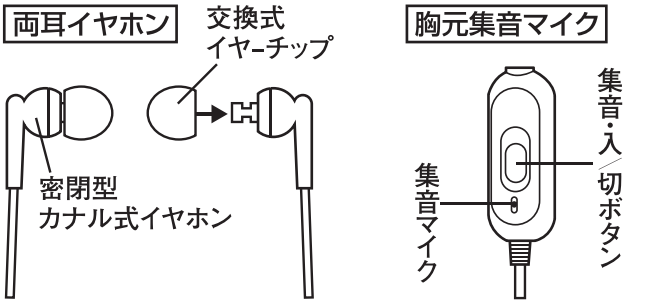
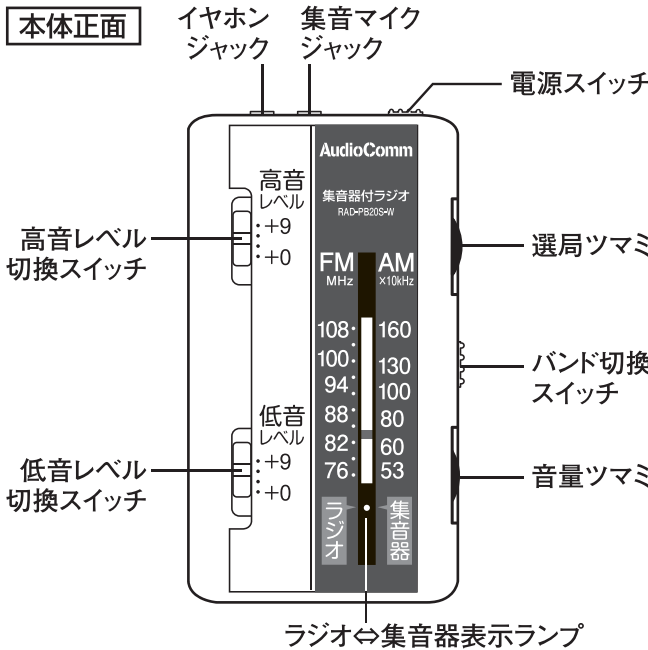
- 本体背面の電池ボックスカバーを横にスライドさせて開きます（右図参照）。
- 電池ボックスに、単4形乾電池2本（別売）を入れます。電池ボックス内に表示されているプラス（+）、マイナス（-）の極性通りに正しく入れてください。なお、電池を入れる際は必ず（-）側から先に装着してください。
- 電池ボックスカバーを①と逆の手順で閉めます。

アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式電池では使用可能時間が短くなります。

本体のお手入れの仕方

やわらかな布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤や石けん水に浸した布を固く絞って拭き取り、やわらかな乾いた布で仕上げてください。なお、シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたりしないでください。変色・変形、または破損の原因になります。

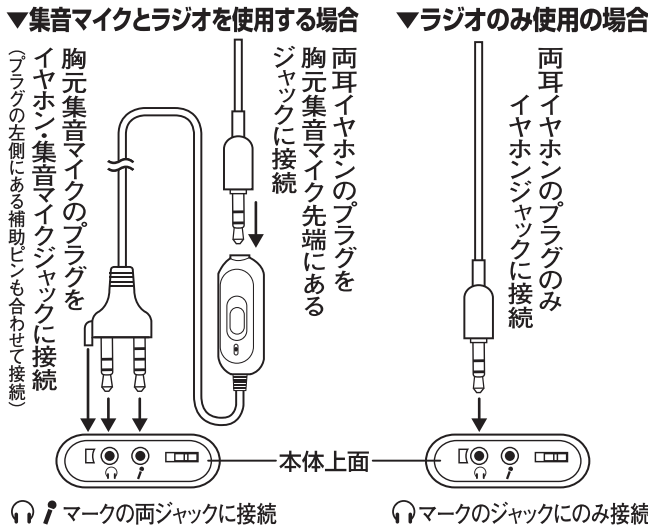
各部の名称



両耳イヤホンの使い方 ※両耳イヤホンですがモノラル再生です。

《密閉型カナル式イヤホンについて》
本製品に付属の両耳イヤホンは、耳穴に密閉して装着するカナル式イヤホンとなります。周辺の音の遮音性に優れ、ラジオの音や集音された音を集中して聴くことができます。なお、イヤーチップも耳穴へのフィット感を高めるためS/M/L 3サイズが付属しています。3サイズのそれぞれをお試しになって、ご自身の耳穴に一番合うサイズのイヤーチップに交換してご使用ください（上図イヤホン参照）。

《両耳イヤホンの接続について》
本製品は、ラジオと集音器の二つの機能があります。下図を参照して用途に応じて接続してださい。



ラジオの使い方 ※本製品はイヤホン専用機です。

- 「イヤホンの使い方」を参照して両耳にイヤホンを装着します。
 - 音量ツマミを回して音量を最小にします。
 - 電源スイッチを「入」にして電源を入れます（ラジオ⇄集音器表示ランプが赤く点灯）。
 - 音量ツマミを回して音量を調節します。
 - バンド切換スイッチで「AM」か「FM」を選択します。
 - 選局ツマミを回して、お聴きになる放送局の周波数に合わせます。
 - 「高音」「低音」レベル切換スイッチで、一番聴きとりやすい音質選択をします。
 - ラジオのご使用を終える時は、電源スイッチを「切」にします（ラジオ⇄集音器表示ランプが消灯）。
- ※本機はアナログ選局のため、使用状況により周波数の表示が受信している周波数から多少ずれる場合がありますのでご了承ください。
※本機はFM周波数帯域が76～108MHzまでであるため、ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。ワイドFM（FM補完放送）とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のためにFMの90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。ワイドFM（FM補完放送）の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

受信について

- AM放送を聞くとき
本体を放送が一番良く受信できる方向に向けてください。
- FM放送を聞くとき
イヤホンコードがFMアンテナを兼用していますので、コードを放送が一番良く受信できる方向に向けてください。
- 電車や建物の中で聞くときは
電波が弱くなると、聞こえにくくなります。本体を窓に近づけておいてください。尚、トンネルや地下鉄の中、地下街などでは、電波状態が悪く聞こえないことがあります。
- 音声について
・本機はモノラル受信機です。ステレオ音声にはなりません。
・本機はTV放送は受信できません。

集音器の使い方

本製品はラジオと別に集音器が付いています。ラジオを聴くようなスタイルで集音でき目立たず便利です。

- 「イヤホンの使い方」を参照して両耳イヤホンと胸元集音マイクを接続し、両耳にイヤホンを装着します。
- 音量ツマミを回して音量を最小にします。
- 電源スイッチを「入」にして電源を入れます（ラジオ⇄集音器表示ランプが赤く点灯）
※電源を入れた時は常にラジオモードとなります。
- 胸元集音マイクの集音・入/切ボタンを押すと、ラジオ⇄集音器表示ランプが赤から緑に変わり、集音モードになります。集音マイクを集音する方向に向けて、コードに付属のクリップで衣服などに固定してください。
- 音量ツマミを回して音量を調節します。
- 「高音」「低音」レベル切換スイッチで、一番聴きとりやすい音質選択をします。
- 集音中にラジオをお聴きになる時は、音量ツマミを回して音量を最小にして、集音・入/切ボタンを押します。ラジオモードに戻りますので、再度音量ツマミで音量を調整してください。（ラジオ⇄集音器表示ランプが赤に変わります）。
※ボタンを押すごとにモードが変わります。
- 集音器のご使用を終える時は、電源スイッチを「切」にします（ラジオ⇄集音器表示ランプが消灯）。

※本機には、突然の大きな音を自動的に調整する機能は付いておりません。